令和8年度 第1回西新宿スマートシティ協議会

2026年6月23日（火）13:00～14:00



議事

議事	1. 開会の挨拶 2. 協議会参加者の紹介 3. 令和7年度・第3回協議会の振り返り 4. 今年度の取組スケジュール 5. 各部会の目標設定・活動内容 • スマートサービス実装部会 • 広報・コミュニティ部会 • データ利活用部会 6. 構成員取組紹介 7. 質疑応答・意見交換 8. 閉会の挨拶

1. 開会の挨拶

2. 協議会参加者の紹介

3.令和7年度・第3回協議会の振り返り

令和7年度第3回協議会（令和8年3月5日実施）

西新宿のまちづくりにおけるデジタル活用についてご意見をいただいた

参加者の主なコメント

データ利活用について

■**西新宿地区のデータ利活用**

➢**まちづくりの変化への対応について**

- スマートシティ協議会というからには、災害時にデジタルが活かされていることは重要である。体制やオペレーションなど課題はあるが、協議会からの発議で西新宿全体で外国人も含めた1万人規模の防災訓練を実施できると良いのではないか。「東京の災害対応はすごい」と示すことができる。

  ⇒協議会として、デジタルを活用した防災対策の検討を進めていく。

- AIや新しいDXを活用する協議会にしていけると良い。西新宿において、防災情報のリアルタイム情報の分析や、また、ビルのエネルギー管理情報をAIの学習データとして取り込みスマートエネルギー化に活用する取り組みを期待したい。

  ⇒協議会として、ＡＩやデジタルツインなどのデジタル技術を活用した都市データの見える化など、スマートシティの高度化に向けた取組の検討を進めていく。

令和7年度第3回協議会（令和8年3月5日実施）

西新宿における広報施策についてのご意見や、広報・コミュニティ部会活動の推進に伴う情報連携に関するご意見をいただいた

参加者の主なコメント

広報について

■**広報・コミュニティ部会の活動**

➢**情報連携について**

•イベンティアに防災情報の掲載を進める上で、民間の一時避難場所の情報や、リアルタイム情報について共有可能な既存の仕組みとの連携などを行いたい。（ジョルテ・下花様）

⇒官民連携によって、より効果的に防災対策が進むような連携先を模索していく。

・デジタル技術を活用した情報発信拠点・Shinjuku Future Galleryのリニューアルオープンを控え、西新宿の取組やイベントの情報発信をしたいと考えているため、情報連携をしたい。（小田急電鉄・西村様）

⇒新たに生まれ変わる新宿駅周辺の情報発信に加え、再整備が進む西新宿の取組についても、協議会構成員の皆様と連携して情報発信やイベント連携等を実施していく。

4.今年度の取組スケジュール

西新宿スマートシティ協議会の位置づけ

西新宿地区再整備推進検討会

（目的）
「西新宿地区再整備方針」の実現に向けて、各個別事業の検討状況を共有し検討を深度化するとともに、全体の進捗状況を共有することで事業の推進を図る。

検討状況などを報告

○ 再整備方針の実現に向けて、ガイドライン等を活用し、各個別事業ごとに、具体化を図る。

都市基盤検討WG
委　員：東京都、新宿区、東京都道路整備保全公社、新宿副都心エリア環境改善委員会
事務局：東京都 街路計画課、新宿区 新宿駅周辺基盤整備担当課

沿道街区連絡会
構成員：西新宿グランドモール・回遊軸沿道地権者等
ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ：東京都、新宿区
事務局：新宿副都心エリア環境改善委員会事務局

西新宿スマートシティ協議会
構成員：東京都、新宿区、新宿副都心エリア環境改善委員会会員企業、通信事業者・民間事業者等
事務局：東京都 デジタルサービス局、新宿副都心エリア環境改善委員会

まちの運営WG
構成員：新宿副都心エリア環境改善委員会会員企業
ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ：東京都、新宿区、東京都道路整備保全公社
事務局：新宿副都心エリア環境改善委員会事務局

※各個別事業の検討を進めるにあたり、適宜、情報共有及び連携を図る。

第1回 西新宿地区再整備推進検討会（書面開催）会議資料より抜粋

【都市基盤検討WG】
道路空間や沿道街区における施設等のデザイン・配置等の検討

【沿道街区連絡会】
道路空間と沿道街区が連携した「西新宿アーバンロビー、西新宿テラス、ラボ」の検討

西新宿スマートシティ協議会

- まちの空間活用や将来のまちづくりに役立つスマートサービスの活用
- 多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実
- エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進

【まちの運営WG】
道路空間及び沿道街区の再整備の検討と連携しながら、道路や公開空地などの一体的利活用、持続可能な管理運営の仕組みなどについて検討

取組の方向性｜西新宿スマートシティ協議会

【市民のQOLの向上に向けた部会ごとの方針】

① まちの空間活用や将来のまちづくりに役立つスマートサービスの活用

② 多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

③ エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進



令和8年度 協議会年間スケジュール

今年度は次回11月に部会・12月に協議会を実施予定である



5.各部会の目標設定・活動内容

5-1.スマートサービス実装部会
5-2.広報・コミュニティ部会
5-3.データ利活用部会

参加者｜スマートサービス実装部会

令和8年度の組織体制

協議会

スマートサービス実装部会
✓ 西新宿エリアのまちづくりに資するサービスを実装・活用する

（協議会）
- 東京都デジタルサービス局
- 環境改善委員会事務局

（事業者）
小田急電鉄、損害保険ジャパン、大成建設

広報・コミュニティ部会
✓ 協議会の認知度を上げるとともに、西新宿の方々との共創を活発化する

データ利活用部会
✓ データ利活用促進に向けた方針整理や課題の解消を行う

取組目標（令和8年度） ｜スマートサービス実装部会/データ利活用部会

西新宿地区再整備方針を実現するため、西新宿地区再整備ガイドラインに記される
道路と沿道街区を連携させる２つの取組を進める



西新宿地区再整備ガイドライン

１．ウォーカブルな都市空間の構築に向けた取組

デジタル技術によって空間構築を支援する

・次世代モビリティの実装
・通信環境の整備
・データによる裏付け

２．都市空間の活用に向けた取組

直接的にスマートサービスの実装が見込まれる取組

・デジタルツインの活用
・デジタルサイネージの設置

取組内容（令和8年度） ｜スマートサービス実装部会

西新宿地区再整備ガイドラインには、次世代モビリティの導入やデジタルツインの活用が、スマートサービスの導入例として記載されている



まちの運営・デジタル

デジタル技術を活用したまちづくり

○ 道路や沿道街区の再整備の検討に当たっては、都市のデジタルツインを活用し、デジタル空間上にまちの将来イメージを再現

❶ 賑わい・滞在空間のデザインやバリアフリー経路の確保など、まちづくりのシミュレーションを実施
❷ 市民や企業等へまちの将来イメージ等をわかりやすく発信するとともに、まちづくりに参加できる機会や場を創出
❸ 過去・現在・将来の西新宿地区の姿をデジタルアーカイブとして残す

▲西新宿のシン・デジタルツイン

▲人の流れを可視化

○ 多言語による分かりやすい案内情報やまちの魅力、まちづくりの情報、エリアマネジメントの活動、災害情報などを機動的かつ効果的に発信するため、デジタルサイネージ等を活用

■ デジタルサイネージ等の活用の考え方

○ 歩行者への情報発信等が目的のため、デジタルサイネージ等は歩行空間に面した部分や建物低層部、公開空地等への設置とする。
○ 屋外広告物等により収益が生じた場合は、地域に還元することとし地区内の公共空間等の維持管理や魅力の向上、賑わい創出等に活用する。



次世代モビリティの導入

自動運転車、パーソナルモビリティの導入

次世代モビリティの導入に向けた取組

○ 次世代モビリティの導入については、行政や地元まちづくり団体、交通事業者等が連携して取り組む
○ 4号街路においては、道路の再編に合わせた自動運転バス等の導入に向け、運用方法や運行計画等を検討するとともに、関係者との協議・調整や実証実験等による検証に取り組む
○ 回遊軸やその他街路においては、街区間の回遊性を高める自動運転車などの将来的な導入を推進
○ 歩行者を支援し、街区間の回遊性を高めるパーソナルモビリティの導入を推進

■次世代モビリティの種類

種類	自動運転車		パーソナルモビリティ	
			歩行領域モビリティ※1	中速モビリティ※2
イメージ	大 ← 輸送量 → 小			
走行空間	車道		歩道・路側帯	車道・自転車通行空間
主な導入エリア	4号街路	回遊軸・その他街路	4号街路	回遊軸
利用形態	・新宿グランドターミナルと新宿中央公園の循環	・西新宿エリアの回遊	・公共交通の補完、歩行者支援【シェアリング】	・西新宿エリアの回遊 ・周辺エリア(中野、初台、渋谷方面)との移動【シェアリング】

※1 歩行領域モビリティ：歩道通行が可能な最高速度6km/h以下の歩行者寄いのモビリティ
※2 中速モビリティ：電動キックボードや電動自転車などの中速のモビリティ

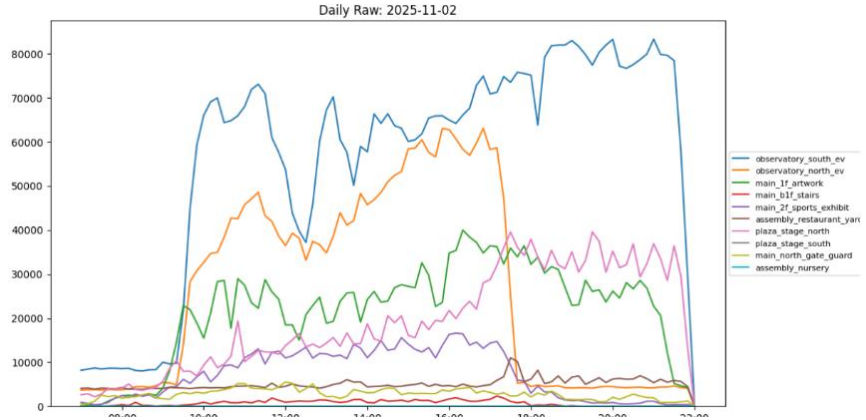
■次世代モビリティ導入イメージ

西新宿地区再整備ガイドライン

取組内容（令和8年度） ｜スマートサービス実装部会

デジタルツインの活用やタクティカル・アーバニズムによる再整備方針の実現を目指し、
部会活動を行う





シン・デジタルツイン

- 現在、過去、未来の西新宿エリアの都市モデルを整備。
- 西新宿先端サービス実装産官学コンソーシアの取組としてスタートしたサービス。
- あったらいいね空間企画で過去に西新宿スマートシティ協議会とも連携実績あり。

タクティカル・アーバニズム

- 都庁周辺にビーコンを設置し、来街者の人流把握を実施する。

※多様な事業との連携により、スタートアップの技術を活用するスマートサービス実装も検討中である

部会目標達成のための取組｜シン・デジタルツイン

昨年度に引き続き4号街路道路改変のデザイン調整会議においてデジタルツインを活用する

目標

✓ウォーカブルな都市空間の構築に向けて、デジタル技術を用いて検討を支援する

短い会議の中でスムーズに議論を進められるカスタマイズ機能

舗装・街灯等を一括変更する機能



賑わい区画を一括設定する機能



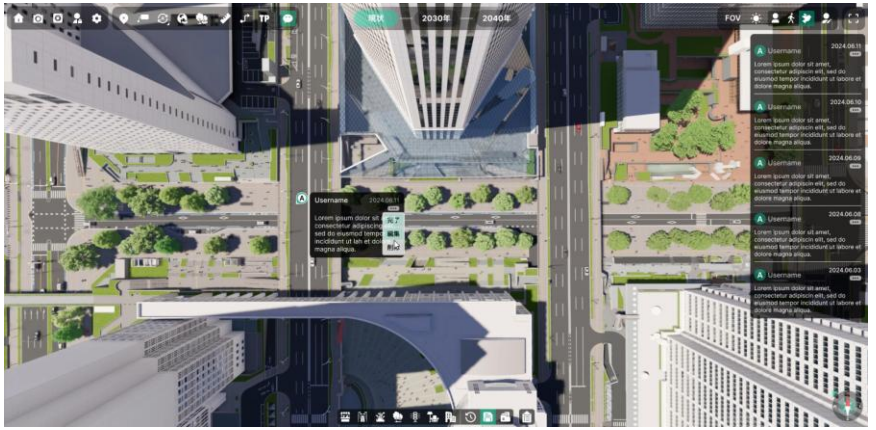
会議でのコメントを記録する機能



その他複数機能を搭載



賑わい区画（街区一体活用区画）の設定画面



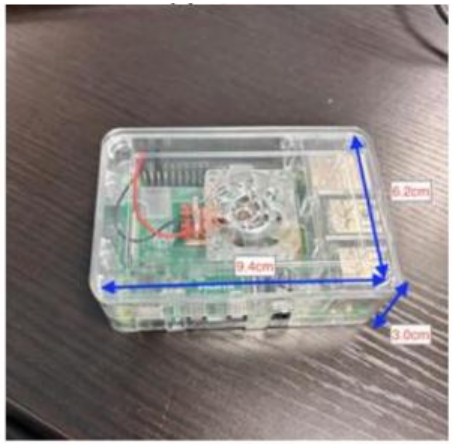
デジタルツイン上のオブジェクトにコメントを記録可能

部会目標達成のための取組｜タクティカル・アーバニズム

東京都庁周辺にビーコンを設置し、西新宿エリア内の人流解析を行うことを目指す

目標	✓地区内の基幹的サービスとして、人流・気温データ等の都市情報を経年的に取得・蓄積し、広く共有・活用を図る

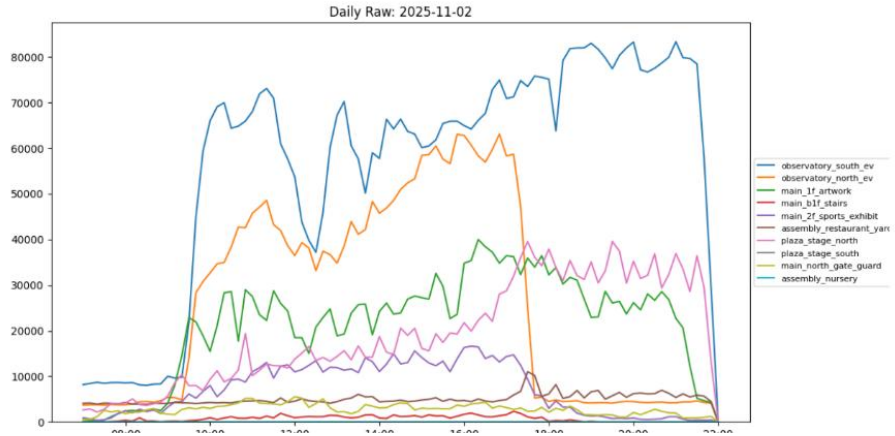
- **各スキャナの測定データをネットワーク経由でサーバに転送**
- **検知したデバイスの稼働状況やデータの取得状況をモニタリング**





設置するBLE スキャナ
（Raspberry Pi 4Bをベースとするスキャンシステムを配置）

- **各設置地点でのデバイス数（≒滞在人数）の遷移を可視化**



1日のデータをグラフ化した図
（2025年11月2日(日)の例）

5-1.スマートサービス実装部会

5-2.広報・コミュニティ部会

5-3.データ利活用部会

参加者｜広報・コミュニティ部会

令和8年度の組織体制

協議会

スマートサービス実装部会
✓ 西新宿エリアのまちづくりに資するサービスを実装・活用する

広報・コミュニティ部会
✓ 協議会の認知度を上げるとともに、西新宿の方々との共創を活発化する

（協議会）
- 東京都デジタルサービス局
- 環境改善委員会事務局

（事業者）
小田急電鉄、ジョルテ

データ利活用部会
✓ データ利活用促進に向けた方針整理や課題の解消を行う

取組目標（令和8年度）｜広報・コミュニティ部会

令和８年度の目標について、下記のとおり設定する

背景

➢令和５年度よりコミュニティの認知度拡大に努めた結果、一定数の認知度を獲得した。
（R７年度アンケート調査：協議会の認知度80%,LINEコミュニティの認知度約61％, コミュニティメンバー数2,613人）

目標策定の方針

➢西新宿スマートシティ協議会の目指すべき状態を目標として設定する

	過年度	今年度
部会の取組方向性	多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実	
部会の年度目標 KGI	コミュニティ活動に参加している人数（年間）	更新 多様なイベント連携やLINEを使った情報発信を行うことによる西新宿スマートシティコミュニティの活性化
部会の年度目標 KPI	コミュニティメンバー数（累計LINE友だち数）	

取組内容（令和8年度）｜広報・コミュニティ部会

LINEでの定期的な情報発信やノベルティ配布・双方向コミュニケーション企画を実施する

目標

✓多様なイベント連携やLINEを使った情報発信を行うことによる西新宿スマートシティコミュニティの活発化

広報

LINEやHPでの情報発信

◆協議会の活動情報・スマートシティの情報発信や西新宿エリア内のイベント情報・双方向コミュニケーションのお知らせを発信



LINE発信例

名刺カード/ノベルティ作成・配布

◆LINE登録促進に寄与するため協議会紹介名刺やノベルティを作成し、配布



作成例

イベント連携

◆構成員関連イベント・東京都他事業との連携

コミュニティ

双方向コミュニケーション企画

◆生活者の意見を収集しまちづくりに反映する企画を実施
今年度はSOMPO美術館連携等を検討

令和7年度の実施例

①アンケート
西新宿のオープンスペースに設置してほしいキッチンカーのジャンル

②投票
スマートシティフェスタに出展してほしいキッチンカーのメニュー

③反映
スマートシティフェスタでの設置（クレープ屋さん）

設置したキッチンカー▶



活動結果報告｜「スマートシティフェスタ2026」

イベントではスマートシティの取組を広く発信した。今年はSusHiTechTokyoと連携し、
相互に広報を行うとともに国際メディアにも広くPRできた



SMART CITY FESTA
スマートシティ
フェスタ

- 日程：4月24日(金)～26日(日)
- 場所：新宿駅西口駅前広場イベントコーナー、
  新宿中央公園、4号街路
- 来場者数：約５万人

当日の様子



▲SusHiTechTokyoブース



▲4号街路トンネル部　モビリティブース



▲SHUKNOVAでのロボットデリバリーデモ



▲スマートシティ発信ブース



▲新宿中央公園　休憩エリア



▲4号街路あかり部　キッチンカー

活動結果報告｜「スマートシティフェスタ2026」

スマートシティフェスタにブース出展し、LINE友達数増加に寄与した

実施概要

- ■ スマシフェスタを巡るLINEスタンプラリーを実施
- ■ 環境改善委員会・協議会の活動紹介

結果

合計

2,577　＋152

【参考】R7実績：＋416

※友だち追加数からブロック数を除いたアクティブユーザーの数



当日の様子



▲環境改善委員会・協議会の活動紹介





▲新宿駅GTエリマネブース



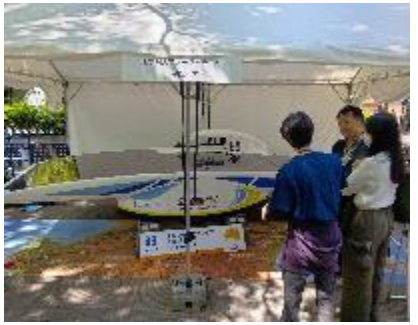
▲都市整備局ブース（市街地整備部）



▲東京医科大学病院様の健康相談コーナー







▲工学院大学様のブース（左から、VRプロジェクト・ロボコン・ソーラーチーム）

5-1.スマートサービス実装部会
5-2.広報・コミュニティ部会
5-3.データ利活用部会

参加者｜データ利活用部会

令和8年度の組織体制

協議会

スマートサービス実装部会
✓ 西新宿エリアのまちづくりに資するサービスを実装・活用する

広報・コミュニティ部会
✓ 協議会の認知度を上げるとともに、西新宿の方々との共創を活発化する

データ利活用部会
✓ データ利活用促進に向けた方針整理や課題の解消を行う

（協議会）
- 東京都デジタルサービス局
- 環境改善委員会事務局

（事業者）
ジョルテ、東京ガス、東京ガスエンジニアソリューションズ

取組目標・取組内容（令和8年度） ｜データ利活用部会

西新宿地区再整備方針に記されるスマート街区の実現への寄与を目指し、ユースケース毎に検討を進める

方針 4【デジタル】 デジタルの力で質の高いサービスを提供するスマートシティの実現

4－③ 多様なデジタルサービスが実装されるスマート街区を実現

○最先端の共通通信インフラにより屋内外問わない快適なワークスペースを創出するとともに、非常時の案内誘導や災害時にもつながる強靭な通信環境の整備を推進します。

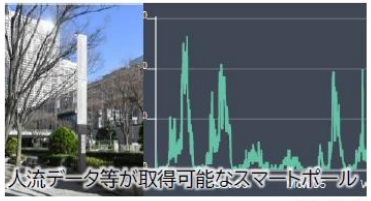
○まち全体のエネルギーマネジメントや防犯・感染症対策のほか、環境の見える化など、まちと調和したスマートビル・スマート街区を実現します。

○データドリブン社会を見据え、地区内の基幹的サービスとして、人流・気温データ等の都市情報を経年的に取得・蓄積し、広く共有・活用を図ります。

※データドリブン
得られたデータを総合的に分析し、未来予測・意思決定・企画立案などに役立てること



出典：一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会



出典：東京都

多様なデジタルサービスが実装されるスマート街区を実現

- まち全体のエネルギーマネジメントや防犯・感染症対策のほか、環境の見える化など、まちと調和したスマート街区を実現する

- **スマート街区の実現に向けユースケース毎に検討を進める**

✓ **「イベンティア」等による西新宿エリアのコミュニティの可視化・基盤整備**
✓ **西新宿エリア地域冷暖房の制御によるスマートエネルギーマネジメント検討**

西新宿地区再整備方針

部会目標達成のための取組｜コミュニティの可視化・基盤整備（イベンティア等）

西新宿エリアの賑わい創出のため、イベンティアの機能深化によるコミュニティの可視化や活動基盤の整理を行う

昨年度の活動

イベンティアの機能深化

西新宿イベントマップの更新と共に、イベントスペースの情報集約・可視化、デジタルを活用した防災コンテンツの作成を行った

今年度以降の活動

目標	✓地域イベント情報の発信力向上による西新宿エリアの賑わい創出
取組	**▶西新宿エリアにおけるコミュニティの集約・可視化** 地域内に存在する多様なコミュニティや活動内容を可視化し、参加促進や地域活性化につなげる仕組みの検討 **▶コミュニティ共有基盤の構築** イベントや行事情報の発信やコミュニティ内での円滑なコミュニケーションを実現する情報共有環境の整備 **▶スマートグラス×イベントによる“まちの見える化”** スマートグラス等の先端技術を活用し、イベントや地域情報をリアルタイムに可視化する取り組み **▶リアルタイムアンケート＋サイネージ活用** 上記やイベンティアを含めた、発災時の情報共有や防災訓練システム構築などの検討 **西新宿イベントマップについても継続的にコンテンツの最適化・拡充を進め、地域イベント情報の発信力向上および利用者満足度の向上を図る。**

部会目標達成のための取組｜スマートエネルギープロジェクト

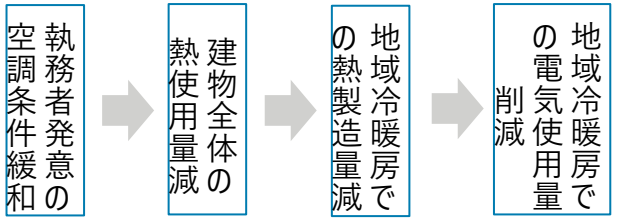
昨年度から継続してエリア内建物の空調条件の緩和に加え、地域冷暖房からの冷水温度の条件緩和に関する基礎調査を実施し、需給両面から脱炭素にアプローチする予定

目標	✓需要データ提供を行う西新宿エリア地域冷暖房導入ビル率：100%（2040年代頃）
今年度のKPI	✓執務者行動変容の仕組み検討のための実証試験（再チャレンジ）：1ビル ✓供給温度緩和が空調に及ぼす影響評価のためのアンケート：10ビル

取組

需要側の取り組みによるエネルギー使用量削減の検討

- 昨年度までに得られたデータと地域冷暖房のデータを用いて、**DR（デマンドレスポンス）の効果を定量的に評価**
- **執務者レベルの省エネの取り組みを促す仕組み**の検討、実験の施行（再チャレンジ）



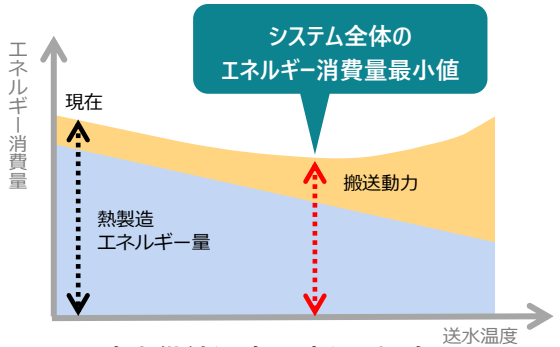
空調条件緩和とDRとの関係

供給側（地域冷暖房）の条件緩和によるエネルギー使用量削減の検討

- 冷水供給温度を変動させた場合に空調条件にどのような影響がでるかを把握するため、各ビルの空調機の仕様等を調査

冷水供給温度最適化について

- ✓ 地域冷暖房は年間を通じて一定の温度で熱を供給しているが、季節や時間帯によっては**使用側の空調条件に影響を与えることなく温度を緩和（冷水温度を上げる）できる可能性**がある。
- ✓ 温度緩和によりシステム全体のエネルギー消費量を最小化し、CO2排出抑制できる可能性がある。



冷水供給温度最適化の概念

6.構成員取組紹介

7.質疑応答・意見交換

8.閉会の挨拶

西新宿スマートシティ協議会公式LINEへの登録にご協力をお願いいたします

LINE 公式アカウント

